

在シドニー総領事通信

第 39 回 日豪間の姉妹都市交流と学校間交流のひろがり

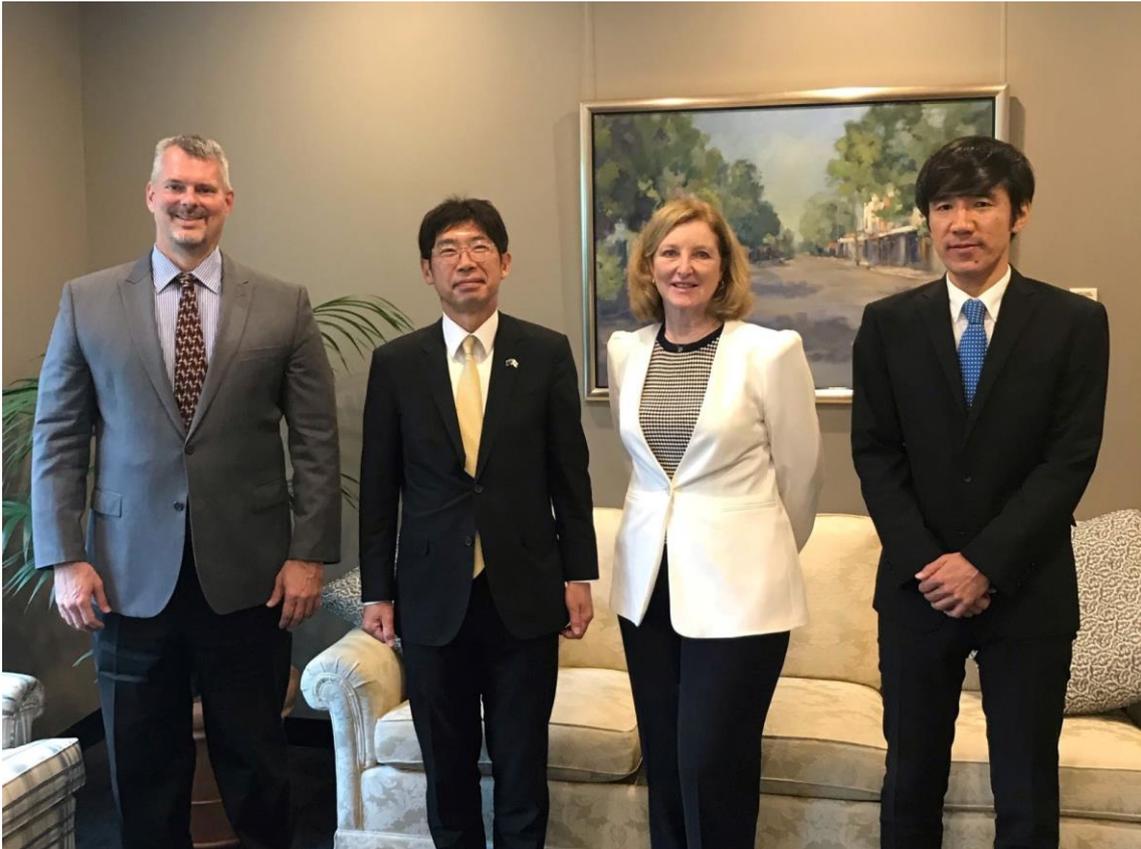
令和 3 年（2021 年）5 月 21 日

あなたは子どもの頃、修学旅行でどこに行きましたか？私は横浜に住んでいて、小学 6 年生で日光、高校 3 年生で東北に行きました。友達と一緒に、全く知らない土地を旅行するのは強烈な体験で、今もいくつかの場면을良く覚えています。

子どもたちにとって、外国での生活体験から得るものは更に大きいと思います。シドニーに着任して、日豪双方のたくさんの子供たちが、様々な研修・交流事業を通じ、相互に訪問してホームステイを行い、お互いの文化や生活に接していることを初めて知りました。

今の私の最も大切な仕事の一つは、このような日豪間の次世代の交流を推進し、相互理解と協力関係を一層発展させることです。最近、シドニーのコロナ状況が落ち着いてきたので、日本と姉妹都市交流を行っている様々な都市を訪問する機会に恵まれました。

今回の総領事通信では、これらの都市への訪問について報告しながら、日豪間の姉妹都市交流や学校間交流の現状と将来について、皆様と一緒に考えていきたいと思います。



ウィロビー市のジャイルズ＝ギドニー市長、キャンベル副市長、
赤岩自治体国際化協会シドニー事務所長と
(2021年4月9日)

●ウィロビー市と東京都杉並区

4月9日、シドニー北部のウィロビー市（人口約7万人）を訪問し、ジャイルズ＝ギドニー市長とキャンベル副市長と意見交換を行いました。ウィロビー市はチャッツウッド、セントレナーズ、アターモン、ノースブリッジなど在留邦人の多い地域です。

このウィロビー市は、1990年から東京都杉並区（人口約56万人）と姉妹都市交流を推進しています。杉並区は、中学生海外留学事業として、毎年8月に中学生25名をウィロビー市に2週間派遣し、現地校体験やホームステイ、総領事館・企業訪問などを行っています。ジャイルズ＝ギドニー市長も、コロナ前まで毎年表敬を受けてきた由です。

チャッツウッドでは、毎年ウィロビー市が主催するエマージ祭の一環として、シドニー日本クラブ（JCS）が祭りジャパンフェスティバルを開催しています。本年も10月に開催予定とのこと、楽しみにしています。



キャンベルタウン市のパーティセビッチ市長、ドイツ CEO 他と
日本庭園の茶室「越谷亭」の前で
(2021 年 4 月 15 日)

●キャンベルタウン市と埼玉県越谷市

4月15日、シドニー南西部にあるキャンベルタウン市（人口約15万人）を訪問し、パーティセビッチ市長、ドイツ CEO と意見交換を行いました。同市は1984年に埼玉県越谷市（人口約34万人）と姉妹都市になり、青少年使節団や市職員の相互派遣交流など活発な交流が続いています。同席していたアマダ職員も、一昨年に数か月にわたり越谷市で研修を行ったばかりとのことでした。

キャンベルタウン市内には、コシガヤパークや日本庭園があり、日本の雰囲気を感じることができます。越谷市にも、キャンベルタウン野鳥の森や、キャンベルタウン公園がある由です。7月3日にはキャンベルタウンの「冬祭り(Chill Fest winter festival)」で越谷市との姉妹都市行事が開催されるので、再度訪問する予定です。



カンタベリー・バンクスタウン市のアスフォー市長他と
西シドニー大学キャンパス予定地の工事現場で
(2021年4月26日)

●カンタベリー・バンクスタウン市と大阪府吹田市

4月26日には、シドニー西部にあるカンタベリー・バンクスタウン市（人口約37万人）を訪問し、アスフォー市長はじめ市幹部と西シドニー大学副学長との意見交換を行いました。カンタベリー・バンクスタウン市は1989年から大阪府吹田市（人口約37万人）と姉妹都市交流を行っています。

2020年、友好都市締結30周年・吹田市市政施行80周年に際して、吹田市への訪問団が計画されていましたが、医療サービス、大学との連携、起業支援、環境ガイドライン、高齢化対策などの視察や勉強会や多文化共生社会に関する講演会など密度の濃い日程で、コロナで中止となったのが本当に残念です。

カンタベリー・バンクスタウン市は近年人口増が著しく、庁舎の前には西シドニー大学の新キャンパスが建設中で、発展する都市の勢いを感じました。



サザランド市のシンプソン市長他と中央区庭園で
(2021年4月26日)

●サザランド市と東京都中央区

同日午後、シドニー南部のサザランド市（人口約23万人）を訪問し、シンプソン市長他と意見交換を行いました。サザランド市は1991年から東京都中央区（人口約14万人）と姉妹都市交流を行っており、今年で30周年になります。中学生の相互ホームステイ交流を中心に、お互いの都市を紹介する交流事業を毎年行っています。

サザランド市庁舎の隣には、中央区が1993年に寄贈した立派な中央区公園があり、今でも当地の庭師がきれいに維持管理しています。東京都中央区は銀座、や日本橋、築地など都内でも歴史が古く、このような文化交流にも力を入れていると感じました。

更に、サザランド市の中学校は、常陸大宮市の中学生海外研修も受け入れています。2019年には、60名以上の中学生がサザランド市で交流学習やホームステイを行った由です。貴重な経験だったことと思います。



カウラ日本庭園・文化センターの紅葉祭り開会行事で
グリフィス理事長とアームストロング・シドニー大学名誉教授
(2021年5月4日)

●カウラ日本庭園の紅葉祭り

5月4日、カウラ日本庭園・文化センターで初の「紅葉祭り」が始まりました。私もカウラ市（人口約1万3千人）に赴き、日本人・豪州人両戦争墓地で献花するとともに、開会行事に出席しました。

以前、この総領事通信でもご紹介しましたが、カウラでは1944年に日本の戦争捕虜の脱走事件が発生したことを契機に、戦後に日本人戦争墓地の設置や日本庭園の造成など日豪間の和解のための交流が進んできました。

カウラ日本庭園では、これまで毎年9月に大規模な「桜祭り」が開催されてきました。コロナで昨年の桜祭りは中止されましたが、これを機に行事を見直し、本年から5月5日の「子どもの日」に合わせ、子どもへの教育啓発に焦点を当てた「紅葉祭り」を新たに立ち上げました。日本とゆかりの深いカウラで、日豪交流が一層発展していることを嬉しく思います。



オレンジ市のキッド市長からのオレンジ市写真集の寄贈
(2021年5月5日)

●オレンジ市と茨城県牛久市

翌5月5日、オレンジ市（人口約4万人）のキッド市長の案内で市内を視察するとともに意見交換を行いました。オレンジ市は1990年から30年以上、茨城県牛久（うしく）市（人口約8万人）と姉妹都市交流を行っています。

具体的には、オレンジ市と牛久市の高校各2校が姉妹校となり、毎年相互に生徒を派遣しています。キッド市長夫人はこのオレンジ市側の姉妹校教師で、これまで7回訪日しているのみならず、市長宅でホームステイの受け入れも行っているとのことでした。

オレンジ市は農業が盛んで、1992年からNSW州第一次産業省はシドニー市からオレンジ市に拠点を移しています。日本の農林水産省はNSW州第一次産業省と2018年に協力覚書（MOC）を締結しており、この機会に同省幹部との意見交換を行い、農業イノベーションセンター（GATE）を視察しました。



ブルーマウンテンズ市の文化センターでの
ファン・デア・クレイ副市長他との意見交換（2021年5月12日）

●ブルーマウンテンズ市と兵庫県三田市

5月12日、シドニー西部ブルーマウンテンズ市（約8万人）を訪問し、ファン・デア・クレイ副市長とグラハム姉妹都市委員会会長他幹部との意見交換を行いました。ブルーマウンテンズ市は、1988年から兵庫県三田（さんだ）市（人口約11万人）と姉妹都市交流を行っています。具体的には、両市のランニング大会の選手派遣交流、子どもの絵画交流、高校生の派遣交流を行っています。

昨年はコロナで交流が中止されましたが、本年は子どもの絵画交流が早速再開予定で、その準備のためのテレビ会議を翌週に開催するとのことでした。また、市内には三田市友好庭園があり、周年行事として相互訪問を行った際の記念植樹と銘板が、姉妹都市委員会により大切に維持管理されていました。



ともだち 2021 オンライン学校間交流ウェビナーで
司会を務めるギブソン氏（2021年2月22日）

●ともだち 2021 日豪学校間オンライン交流

学校間交流は、姉妹都市交流にとどまりません。オーストラリア・オリンピック委員会（AOC）が主催する「ともだち 2021」日豪学校間オンライン交流がいよいよ開始します。これは、オリンピックをテーマに本年4月から7日豪双方の学校がオンラインで交流するもので、日本の外務省・文部科学省が後援しています。

本年2月から4月まで日豪双方で参加校を募集したところ、目標の日豪各200クラスを大幅に上回り、日豪各300クラスから登録がありました。マッチング作業も終了し、これから交流が本格的に始まります。

コロナで日豪間の往来が難しい中、この日豪各300クラス間のオンライン交流が、将来の相互訪問につながり、大きく発展するよう願っています。



サザランド市と東京都中央区の学生交流
(出典：サザランド市の中央区との姉妹都市交流ウェブサイト)

●姉妹都市交流・学校間交流の更なる推進に向けて

日豪関係は、貿易・投資や安全保障だけではありません。数十年にもわたる姉妹都市交流や学校間交流の蓄積と発展が、両国の相互理解と協力を一層強固なものにしています。各都市を回り、ともだち 2021 の参加校公募を支援する中で、交流の広さと深さを実感しました。

将来に向けて、このような姉妹都市交流や学校間交流が更に広がり、深まるように、交流の担い手となる関係者と少しでも多く会い、活動を後押ししていきたいと思えます。皆様も、次世代の交流を是非応援いただければ幸いです。

日本と NSW 州・北部準州（NT）との姉妹都市（当館ウェブサイト）

https://www.sydney.au.emb-japan.go.jp/itpr_ja/sister_city.html

オーストラリア・オリンピック・コネクト／ともだち 2021

<https://www.olympics.com.au/community-and-schools/australian-olympic-connect-2020/>

（以上）